

2008-09年度

米山記念奨学セミナー開催報告

地区副幹事 小林 夏夫

2008年9月20日(土)米山記念奨学セミナーがホテルアミューズ富岡で開催された。今年度は、クラブ会長・クラブ米山記念奨学委員長及び世話クラブカウンセラーに参加要請をしたところ47クラブ中44クラブの参加がありました。豊泉政治副委員長の開会で始まり、松倉ガバナーよりロータリーが目指す世界親善と世界の平和へつながる日本独自の米山記念奨学事業の重要性を強調した挨拶があった。続いて中繁 基委員長より米山記念奨学会への理解と協力への御礼を兼ね「米山学友ホームカミング制度」～海外で活躍する米山学友の里帰り制度～が設立された内容を説明し挨拶とした。つぎに昨年度(横山年度)本地区で1人あたり平均寄付額3万円以上納入した沼田RCより寄付増進事例発表をして頂いた。これによると、米山功労者賞が累計10万円毎の表彰に改定され、新しい会員に勧めた、最初、準米山功労者1万～3万円の寄付をお願いし、2年以上の会員にも1万～3万円の寄付をお願いした。その他金額別人数等の寄付増進事例を発表していただいた。つづいて今年度より新しくなった、DVD“すばらしい贈り物”約22分間をプロジェクターで映写、つづいて高木米山記念奨学会常務理事よりパワーポイント使用して“よねやまって?”から始まり、寄付金の入り口・出口・奨学金プログラム・海外で活躍する元米山記念奨学生等々の詳細な説明が40分間程あった。つづいて分科会 テーマ“米山記念奨学寄付増進”についてガバナー補佐にリーダーになって頂き約50分間にわたり討議願い、まとめをガバナー補佐に発表していただいた。内容は多岐にわたり今後、寄付増進につき大変参考になるものと考えております。ガバナー補佐より、まとめた資料を提出願うことになっておりますので、月信等に掲載したいと考えております。閉会を前に中繁委員長より休憩も取らず3時間以上に及ぶ 真剣ご討議をいただきました御礼と今後とも寄付増進活動にご尽力していただきますようお願いし、相澤克也米山記念奨学委員の閉会の挨拶で無事終了しました。

尚、ガバナー補佐をはじめ地区役員の皆様方には大変お世話になり誠にありがとうございます御座いました。



挨拶をする中繁委員長



高木米山記念奨学会常務理事の説明の様子



分科会での様子を説明する町田ガバナー補佐